

在宅療養者の胃瘻管理と退院指導演習の学習効果 第2報：事例検討の効果について

新潟医療福祉大学看護学科 稲垣千文, 宇田優子
小林房代, 和田直子, 杉本洋, 小山歌子

【背景】

看護実践論は、看護学科で修得した看護学の知識・技術を統合し、安全で確実な看護実践の能力を養うことを目標に4年次に開講し、1単位8コマのうち4コマを共通内容として全学生が受講、残りの4コマを看護7領域が提供するテーマのうち、1テーマを学生が選び受講する教育形式をとっている。平成25年度の地域・在宅看護学領域の看護実践論は、2コマで実施した。履修学生に質問紙調査を行った結果、高齢介護者に対する胃瘻管理の退院指導のポイントを考えることが「あまり出来なかった」。その理由を、「実技をすることに精一杯で十分に考えることが出来なかった」、「考察をする時間が欲しかった」、「具体的に考えることが必要であった」等、自由記載回答より事例検討の必要性の示唆を得た。

そこで平成26年度の看護実践論では、時間数を2コマから4コマに増やし、学生が講義で在宅療養者の胃瘻管理を学び、高齢者疑似体験キットを着用し胃瘻管理技術の体験より高齢者が行う胃瘻管理についてイメージできることと、事例検討を通して高齢介護者への退院指導が考察できることを学習目的に演習を行ったので、その効果について報告する。

【方法】

調査対象は、看護実践論にて、地域・在宅看護学領域の在宅胃瘻管理の講義及び演習を受講した、看護学科4年生13名である。調査方法は、演習終了後、集合自記式質問紙調査とした。調査内容は、①講義・演習内容の理解、②高齢者疑似体験キットを着用して高齢者が行う在宅での胃瘻管理の理解、③事例検討を通して高齢介護者に対する退院指導ポイントの理解、④演習に対する学生の満足度についてである。学生の理解や満足の程度を5段階のリッカート（「5：よく理解できた。よく満足できた。」から「1：理解できなかった。満足できなかった。」）にて調査し、その理由を自由記述とした。理由は、質的帰納的に分析を行った。

倫理的配慮は、対象学生には、調査の趣旨と自由参加であり、調査参加の有無は成績に無関係である旨の説明を、紙面と口頭にて行い、参加同意を紙面への署名で得た。また、調査票は個人が特定されないように無記名とした。

【結果】

受講した学生13名より研究同意を得た。アンケートの結果回答平均点は、1.胃瘻の理解が出来た＝4.69点、2.在宅での胃瘻管理の理解が出来た＝4.62点、3.高齢者疑似体験を通し

た高齢者の行う胃瘻管理のイメージ化が出来た＝4.77点、4.高齢介護者に対する胃瘻管理の退院指導のポイントを考えることが出来た＝4.62点、5.演習内容は満足であったか＝4.82点であった(表1)。質問4に対する回答の理由は、表2のとおりである。

表1 在宅療養者の胃瘻管理演習後アンケート結果
n = 13

質 問	回答平均点
1. 胃瘻について理解出来ましたか	4.69
2. 在宅での胃瘻管理について理解出来ましたか	4.62
3. 高齢者疑似体験を通して、高齢者が行う胃瘻管理についてイメージ出来ましたか	4.77
4. 高齢介護者に対する胃瘻管理の退院指導のポイントを考えることは出来ましたか	4.62
5. 演習内容は、あなたの知識習得意欲や興味関心を満足させるものでしたか	4.82

表2 退院指導のポイントを考えることができた理由

- ・高齢者体験を通じたあとだったので、考えが深まった。
- ・対象者に寄り添い、対象者にあった退院指導をする必要性が分かった。
- ・様々な視点から考える必要があると改めて理解できた。
- ・全体で意見を共有することで、様々な意見を聞いた為。

【考察】

杉森らは、課題学習とは、課題が明示され、教材からの発見よりは、むしろ教材に対して既知の知識を用いて働きかけ、その内容を充実させたり、既知の知識を使用させたりすることに重点を置いた授業内容であり、講義や、技術演習だけでは得られない具体的な体得感を得られやすいと述べている¹⁾。平成26年度の看護実践論の演習では、課題学習を「高齢介護者へ退院指導」とし、事例を用いることによって、学生は講義や高齢者疑似体験より得た知識を用い、事例に対し具体的に指導のポイントを考えることができ、学生の知識習得意欲や興味関心を満足させるものであったと考えられる。

【結論】

地域・在宅看護学領域で行った在宅療養者の胃瘻管理の演習において、高齢介護者に対する退院指導の実践能力獲得、及び向上のためには、講義と手技の演習と共に、課題学習として事例を設定し、事例に沿った退院指導を検討考察することが有効であり、これらにより、学生は高齢者介護者に対する胃瘻管理の退院移動のポイントを考えることができた。

【文献】

- 1) 杉森みどり, 舟島なをみ：看護教育学, 医学書院, 第5版, 217, 東京都, 2012.